

2026年度 国の施策及び予算に関する

要望書



北海道経済連合会「2050 北海道ビジョン」 イメージ図

2025年5月

北海道経済連合会

2026年度 国の施策及び予算に関する要望

至近の観光需要がコロナ禍を上回るペースで推移する等、道内の需要は回復傾向が続いている一方で、労働力不足の深刻化・物価高騰に加え、米国トランプ政権による関税措置により、道内の事業者は引き続き厳しい状況にあります。

そうした中、2024年6月に北海道・札幌市が「GX金融・資産運用特区」として指定され、2025年度には千歳市の次世代半導体工場のパイロットプラントが稼働、さらには、洋上風力発電の道内初の「促進区域」としての指定が迫っている等、大きな経済効果を有し、北海道の将来の柱となりうる新たな動きも着実に進捗しています。

当会では、2021年6月に「2050 北海道ビジョン～『課題解決先進地域』のフロントランナーを目指して～」を公表しました。これは人口減少・少子高齢化等に起因する諸課題を北海道の強みを活かして解決し世界に貢献する、「北海道のありたい未来像」を掲げたものですが、GXや次世代半導体に関するこれらの新たな動きは、「2050 北海道ビジョン」の実現を力強く後押しするものと受け止めています。

一方、国においては、「第9期北海道総合開発計画」が2024年3月に閣議決定された他、「GXビジョン2040」が策定され、「食料・農業・農村基本法」の改正に続き「食料・農業・農村基本計画」の改定が行われ、「宇宙戦略基金」がスタートし、さらには石破政権になって「地方創生2.0」の考え方が示されました。

こうした国の新たな計画や方針等は、北海道がポテンシャルを発揮し、新たな価値創出や地方創生を通じて生産空間を維持する上で極めて重要であり、北海道にとっては、国の動きを積極的に先取りした上で、わが国全体のGX、DX、食料・エネルギー等の安全保障に貢献するとともに、北海道全域が格差なく持続的に発展することを目指していなければなりません。

そのためには、産学官金が一致団結し、知恵を絞り、アイデアを出し合い、汗をかきながら、スピード感をもって取り組みを進めていくことが重要であります。

今回の要望事項は、こうした基本認識のもと、会員企業・団体をはじめとする産業現場や地域の声を踏まえ、「北海道の明るい未来の創造」に資する項目を取りまとめたものです。

政府として「財政健全化」を目指す中、これらの項目の実現により、我が国全体における「成長率の引き上げ」に、北海道が大きく寄与できるものと確信しています。

ついては、2026年度の国の施策及び予算編成にあたり、別記事項について、特段のご配慮を賜りたく、強く要望いたします。

2025年5月

北海道経済連合会
会長 藤井 裕



要 望 書 の 構 成

A. G X ・ゼロカーボン北海道の推進・エネルギー安全保障への貢献

1. 道内へのG X 投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援 (P4)
2. 道内洋上風力発電の導入を契機とする道内経済活性化 (P4)
3. 脱炭素電力を利用するデータセンターの北海道への整備促進 (P4)
4. ゼロカーボン北海道の推進に係る企業の取り組みへの支援 (P4)
5. ゼロカーボン北海道の推進に係る家庭での取り組みの促進 (P4)
6. ゼロカーボン北海道の推進に取り組む自治体等への支援 (P5)
7. 水素の利活用の推進 (P5)
8. 各種再生可能エネルギーの導入拡大 (P5)
9. ブルーカーボン・水産振興に資する藻場造成等への支援 (再掲 20②) (P5)
10. CCS・CCUS等に関する技術開発と実証事業の推進 (P5)
11. サーキュラーエコノミービジネスの推進 (P5)
12. 原子力発電の利活用 (P5)
13. エネルギー価格高騰に対する事業者の負担軽減 (P5)

B. 次世代半導体産業の集積形成

14. Rapidus(株)による次世代半導体工場の建設・本格操業に向けた強力な支援 (P6)
15. 半導体人材の確保・育成への支援 (P6)
16. Rapidus(株)の立地を契機とした半導体関連産業の集積・道内企業との連携構築に向けた支援 (P6)

C. 食産業・農林水産業の発展による食料安全保障への貢献

17. 食料供給基地としての農業・農村基盤整備の拡充とスマート農業の推進 (P7)
18. 酪農経営安定化に向けた牛乳・乳製品等の需要拡大施策の実施 (P7)
19. 「農林水産物・食の輸出の政府目標」達成に向けた品目と輸出先の拡大 (P7)
20. 林業・水産業の振興に資する取り組みの推進 (P7)

D. 観光立国実現への貢献

21. 観光・食の生産空間維持と道内周遊促進に資する、「北海道M a a S」実現への支援 (P8)
22. 高付加価値化、地方誘客・道内周遊促進、生産性向上等に向けた「観光D X」推進の取り組みへの支援 (P8)
23. 北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援 (再掲 50) (P8)
24. ユニバーサルツーリズムへの支援の継続 (P9)
25. 北海道らしいI R (統合型リゾート) 実現に向けた支援 (P9)
26. M I C E の北海道誘致推進 (P9)
27. アドベンチャートラベルの推進 (P9)
28. 新たに国立公園指定された「日高山脈襟裳十勝国立公園」等の道内国立公園における環境保全と調和した高付加価値観光の推進 (P9)
29. 生物多様性の保全に向けた「自然共生サイト」の取り組みへの支援 (P9)
30. ウポポイ (民族共生象徴空間) への誘客促進への支援 (P9)

31. <u>世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の認知度向上及び誘客促進に向けた受入環境整備への支援</u> (P10)	G. 北海道の持続的発展を支える社会資本整備と強靱化
32. <u>「スポーツアイランド北海道」の推進</u> (P10)	44. <u>高規格道路等の整備促進</u> (P14)
E. DXの推進による産業振興と地方創生・地域課題解決	45. <u>北海道新幹線の整備促進</u> (P17) 46. <u>道内鉄道網の維持</u> (P17)
33. <u>宇宙開発の6次産業化</u> (P11)	47. <u>地域公共交通を担うバス事業の持続性確保</u> (P17)
34. <u>北海道の特性に応じた自動運転の実現に向けた支援</u> (P11)	48. <u>Rapidus(株)の立地や観光に伴う国内外からの急速な需要増に対応する、新千歳空港及び新千歳空港駅の早急な機能強化</u> (P17)
35. <u>道内事業者のDX推進に向けた取り組みへの支援</u> (P11)	49. <u>丘珠空港の機能強化</u> (P18)
36. <u>「よろず支援拠点」の継続等による、スタートアップ等の事業者の経営課題に対する支援体制の充実</u> (P11)	50. <u>北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援（再掲23）</u> (P18)
37. <u>米国の関税措置により影響を受ける事業者に対する相談・支援体制の確立</u> (P11)	51. <u>道内港湾・漁港の整備促進</u> (P18)
38. <u>道内各地域での「コンパクト&ネットワーク」確立に向けた地域公共交通への支援</u> (P12)	52. <u>物流機能の強化</u> (P18)
39. <u>地方創生・地域課題解決に係る取り組みへの支援</u> (P12)	53. <u>北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進</u> (P19)
40. <u>医師の偏在是正による北海道各地での地域医療の確保</u> (P12)	54. <u>「第9期北海道総合開発計画」の着実な推進のための、北海道開発予算の一括計上、北海道特例の枠組み及び体制（国土交通省北海道局、北海道開発局）の堅持</u> (P19)
F. 人口減少の緩和と多様な人材の確保・育成	
41. <u>人口の自然減の緩和に向けた、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり</u> (P13)	
42. <u>人手不足対策に資する多様な人材の確保</u> (P13)	
43. <u>次世代を担う人づくりに向けた大学教育関連予算の継続・拡充</u> (P13)	

A. GX・ゼロカーボン北海道の推進・エネルギー安全保障への貢献

- 再生可能エネルギーのポテンシャルの高い北海道が、国の「GXビジョン2040」の実現に大きな役割を果たすためには、「国家戦略特区」や「GX金融・資産運用特区」に基づく規制緩和等を活用しながら、洋上風力発電をはじめとするクリーンエネルギーの立地と、データセンター等のGX産業の集積を進め、供給側・需要側の双方から、道内にGX投資を呼び込んでいくことが極めて重要です。
- ゼロカーボン北海道やエネルギー安全保障に関する施策も併せて必要です。

1. 道内へのGX投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援

【内閣府、金融庁、経済産業省、資源エネルギー庁、国土交通省、環境省】

2. 道内洋上風力発電の導入を契機とする道内経済活性化

- ①道内洋上風力発電の促進区域への早期指定と指定された区域に対する継続支援 **新規**
【資源エネルギー庁】
- ②道内洋上風力発電の導入による道内への経済波及効果を最大化するための産業需要創出 **新規**
【資源エネルギー庁、経済産業省】
- ③道内洋上風力発電の域内外への安定供給に資する電力ネットワークの整備 **新規**
【資源エネルギー庁】

3. 脱炭素電力を利用するデータセンターの北海道への整備促進 【総務省、経済産業省】

- ①データセンターの地方拠点化に向けた環境整備
- ②海外からの通信ケーブルの「陸揚げ拠点」の道内への設置
- ③データセンター立地を契機とするデジタル関連産業の集積の促進 **新規**

4. ゼロカーボン北海道の推進に係る企業の取り組みへの支援

- ①脱炭素に取り組む企業への補助制度等の継続・拡充
【環境省、経済産業省、資源エネルギー庁】
- ②輸送用車両のEV・FCV化・充電設備設置等への支援拡充と寒冷地型EV・FCVの導入促進
【国土交通省】

5. ゼロカーボン北海道の推進に係る家庭での取り組みの促進

- ①家庭での省エネ行動を促す効果的な情報発信
【環境省、資源エネルギー庁】
- ②ZEH等の住宅分野における脱炭素の推進
【環境省、資源エネルギー庁、国土交通省】
- ③CO₂削減に資する高効率機器導入や断熱改修等への補助
【環境省、資源エネルギー庁】

6. ゼロカーボン北海道の推進に取り組む自治体等への支援 【環境省】
- ①「脱炭素先行地域」及び「脱炭素先行地域」を目指す道内自治体への支援
 - ②地域特性を活かした取り組みの推進に資する「脱炭素先行地域」の要件の柔軟化と「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の拡充・使途拡大
7. 水素の利活用の推進
- ①道内における水素インフラ整備及び水素利活用に向けた実証・研究開発への支援 【資源エネルギー庁、環境省】
 - ②「水素・アンモニア」拠点の整備への支援及び輸送インフラの整備促進 【資源エネルギー庁】
8. 各種再生可能エネルギーの導入拡大
- ①バイオマス導入への支援 【農林水産省、林野庁】
 - ②国の「環境配慮ガイドライン」や自治体の条例・ガイドラインを踏まえた、PPA等による太陽光発電導入への支援 【資源エネルギー庁、環境省】
9. ブルーカーボン・水産振興に資する藻場造成等への支援（再掲 20②） 【国土交通省、水産庁】
10. CCS・CCUS等に関する技術開発と実証事業の推進 【資源エネルギー庁、環境省】
11. サーキュラーエコノミービジネスの推進 新規 【経済産業省、環境省】
12. 原子力発電の利活用 【資源エネルギー庁】
- ①原子力発電の利活用に向けた国民理解の促進
 - ②泊発電所早期再稼働への支援
13. エネルギー価格高騰に対する事業者の負担軽減 【資源エネルギー庁】
- ①「燃料油価格激変緩和対策事業」の継続
 - ②「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の継続

B. 次世代半導体産業の集積形成

- Rupidus 社の次世代半導体工場は、2025 年 4 月からパイロットプラントの稼働が始まりましたが、「半導体王国復権」のフラッグシップを目指すには、今後の本格操業も見据えた、国による継続的かつ手厚い支援が不可欠です。
- また、「北海道バレー構想」の起点として、北海道の新たな基幹産業に育つことが期待され、そのためには、人材育成、関連産業の集積、道内企業との連携、全道への効果の波及等、総合的な取り組みが重要です。

14. Rapidus(株)による次世代半導体工場の建設・本格操業に向けた強力な支援

【経済産業省】

①建設・試作・本格操業に係る費用等への支援

②研究開発への支援

15. 半導体人材の確保・育成への支援

【経済産業省、文部科学省、厚生労働省】

16. Rapidus(株)の立地を契機とした半導体関連産業の集積・道内企業との連携構築に向けた支援

【経済産業省】

C. 食産業・農林水産業の発展による食料安全保障への貢献

- 新たな「食料・農業・農村基本法」「食料・農業・農村基本計画」のもとで、北海道農業が我が国の食料安全保障に貢献するためには、大区画化やスマート化による生産性向上を図る必要があります。
- 林業・水産業の振興に資する施策も併せて重要です。

17. 食料供給基地としての農業・農村基盤整備の拡充とスマート農業の推進

【農林水産省、国土交通省】

18. 酪農経営安定化に向けた牛乳・乳製品等の需要拡大施策の実施

【農林水産省】

19. 「農林水産物・食の輸出の政府目標」達成に向けた品目と輸出先の拡大

【農林水産省、水産庁】

20. 林業・水産業の振興に資する取り組みの推進

- ①住宅や店舗・事務所、商業施設等民間施設における道産建築材の利用促進や、道産建築材の生産・供給体制の構築に対する支援の強化
【林野庁、国土交通省】
- ②ブルーカーボン・水産振興に資する藻場造成等への支援（再掲 9）【国土交通省、水産庁】
- ③水産物の安定した国内消費・国内流通に向けた支援策の実施
【水産庁】

D. 観光立国実現への貢献

- 自然・食・文化・スポーツ等の魅力に溢れた北海道は、わが国の「観光立国」実現を牽引できる大きな潜在力を有しています。
- その潜在力を十分に発揮し、観光消費額を拡大させるためには、「北海道M a a S」の実現により、「誰もが安心して便利に移動できる環境」を整えるとともに、高付加価値なサービスを提供し、観光客の満足度を向上させる必要があります。

21. 観光・食の生産空間維持と道内周遊促進に資する、「北海道M a a S」実現への支援

【国土交通省】

- ①「北海道M a a S」の仕組み構築や関連する実証事業等に対する、「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」等での支援（再掲 38①）
- ②「北海道M a a S」の基盤となる情報や実現への課題に関する「北海道開発計画推進等経費」等を活用した調査の実施
- ③「北海道M a a S」の実現・持続性確保に向けた、道・市町村・関係事業者に対する理解活動への協力

22. 高付加価値化、地方誘客・道内周遊促進、生産性向上等に向けた「観光D X」推進の取り組みへの支援

【観光庁】

23. 北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援（再掲 50）

- ①航空燃料供給不足に対する行動計画の着実な実施 **新規** 【国土交通省、経済産業省】
- ②スマートレーン導入等、空港業務D X化に対する支援 【国土交通省】
- ③パスポート取得率向上に向けた支援等、道民・国民のアウトバウンド拡大に向けた施策の実施 **新規** 【国土交通省、外務省】

24. ユニバーサルツーリズムへの支援の継続 **新規** 【観光庁】

25. 北海道らしいＩＲ（統合型リゾート）実現に向けた支援 【観光庁】

26. ＭＩＣＥの北海道誘致推進 【国土交通省、観光庁】

27. アドベンチャートラベルの推進 【観光庁】

①2030年「アドベンチャートラベルワールドサミット」の北海道を含む日本再開催及び同サミットと一体として実施される「High-end Experiential Travel Summit」の北海道開催の実現に向けた支援 **新規**

②上記を見据えた、「ガイドの確保・育成」「ツアーオペレーターの拡充」「魅力的な体験プログラムづくり」及び「ＰＲ・プロモーション強化」等への支援

28. 新たに国立公園指定された「日高山脈襟裳十勝国立公園」等の道内国立公園における環境保全と調和した高付加価値観光の推進 【環境省、観光庁】

29. 生物多様性の保全に向けた「自然共生サイト」の取り組みへの支援 **新規** 【環境省】

①ＯＥＣＭの創出・再生、自然共生サイト管理に対するインセンティブの設定

※OECM: Other Effective area-based Conservation Measures（保護地域以外で生物多様性保全に資する地域）

②普及啓発活動や自然共生サイト認定促進に関する支援

30. ウポポイ（民族共生象徴空間）への誘客促進への支援

①ウポポイの認知度向上・魅力向上・誘客促進、及び駐車料金無料化等への支援

【内閣官房、文化庁、国土交通省】

②ウポポイを教育旅行（修学旅行、見学会等）の訪問先にすることについての小中高等学校への働き掛け
【内閣官房、文部科学省、文化庁、国土交通省】

31. 世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の認知度向上及び誘客促進に向けた受入環境整備への支援
【文化庁】

32. 「スポーツアイランド北海道」の推進
【スポーツ庁】

①「冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター（H P S C）」の北海道への設置

②国内外のスポーツ大会、合宿等の誘致に向けた情報の提供と利用環境の向上に資する施設整備に対する支援

E. DXの推進による産業振興と地方創生・地域課題解決

- デジタル技術は、「宇宙産業」をはじめとする新産業の創出や道内事業者の生産性向上にとって重要です。
- また、地域社会の持続性を確保し、道内全域の人々の「well-being」を格差なく維持・向上させるためには、デジタル技術の実装に加えて、「地方創生2.0」の理念に基づき、産学官金が地域に寄り添い、希望と熱量をもって課題解決に取り組むことが不可欠であり、国にはその支えとなる施策が求められます。

33. 宇宙開発の6次産業化

- ①北海道大樹町でのスペースポート（「LC-1・LC-2射場」及び「3,000m級滑走路」）整備の国家プロジェクトとしての推進 【内閣府】
- ②航空宇宙産業の研究拠点の整備と産学官が連携した技術交流の推進 【文部科学省、経済産業省】
- ③衛星データ利活用の社会実装に向けた技術実証への支援継続 【内閣府、経済産業省】

34. 北海道の特性に応じた自動運転の実現に向けた支援 【内閣府、経済産業省、国土交通省】

- ①積雪寒冷地における自動運転に関する技術開発等への支援
- ②北海道での自動運転の実証・実装への支援及び環境整備

35. 道内事業者のDX推進に向けた取り組みへの支援 【経済産業省、中小企業庁】

36. 「よろず支援拠点」の継続等による、スタートアップ等の事業者の経営課題に対する支援体制の充実 【中小企業庁】

37. 米国の関税措置により影響を受ける事業者等に対する相談・支援体制の確立 新規 【経済産業省、中小企業庁、農林水産省、水産庁】

38. 道内各地域での「コンパクト＆ネットワーク」の確立に向けた地域公共交通への支援

- ①「北海道M a a S」の仕組み構築や関連する実証事業等に対する、「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」等での支援（再掲 21①） 【国土交通省】
- ②道内各地での「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」を活用する取り組みへの支援 【国土交通省】
- ③「地域新M a a S創出推進事業」の採択事例の拡充 【経済産業省】

39. 地方創生・地域課題解決に係る取り組みへの支援

- ①「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の使い勝手の改善 **新規** 【内閣官房、内閣府】
- ②首都圏のアクティブシニアへの訴求等、働き手の確保を重視した移住施策の推進 **新規** 【内閣府、総務省、厚生労働省】
- ③ガバメントクラウドに伴う自治体の基幹業務システム標準化の維持運営費に対する、地方交付税措置等による支援 **新規** 【デジタル庁、総務省、内閣府】

40. 医師の偏在是正による北海道各地での地域医療の確保 **新規** 【厚生労働省】

F. 人口減少の緩和と多様な人材の確保・育成

- 人口減少・少子高齢化が全国より 10 年早く進行する北海道においては、「自然減の緩和」や「社会減から社会増への転換」につながる施策が必要です。
- 加えて、生産年齢人口も大幅に減少し、全体就業率・女性就業率ともに全国平均より低い北海道においては、人手不足が一層深刻化しており、その解決のためにも、多様な人材が北海道で暮らし、いきいきと育ち・働き・活躍していただける方策を多面的に講じていくことが不可欠です。

41. 人口の自然減の緩和に向けた、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

【こども家庭庁】

42. 人手不足対策に資する多様な人材の確保

①あらゆる業種・職種における人手不足対策の強化 【厚生労働省】

②外国人材の受け入れ拡大に向けた取り組み 【出入国在留管理庁、厚生労働省】

③女性の活躍推進 【内閣府、厚生労働省】

④シニア世代の活躍推進 【厚生労働省】

⑤障がい者の労働参加の促進 新規 【厚生労働省】

⑥長期無業者の就労促進 新規 【厚生労働省】

⑦刑余者の就労及び就労継続への支援 新規 【法務省、厚生労働省】

⑧運転手不足への対応強化（再掲 47③） 【国土交通省】

- ・外国人運転手の受け入れ・活躍に向けた環境整備
- ・女性運転手等の活躍に向けた環境整備への支援
- ・運転手の確保・育成に向けた二種免許取得等への事業者補助事業の継続・拡充

43. 次世代を担う人づくりに向けた大学教育関連予算の継続・拡充

【文部科学省】

G. 北海道の持続的発展を支える社会資本整備と強靱化

- 北海道が様々な分野で国に貢献しつつ、持続的発展を遂げるためには、全国に比べて遅れている社会資本の整備を早急に進め、交通・航空・物流等の機能を維持・向上させる必要があります。
- また、国土強靱化の推進は、食や観光の価値を生み出す北海道の「生産空間」を支える上で重要であるとともに、「日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震」をはじめとする様々な災害リスクへの備えの必要性も増していることから、「国土強靱化5か年加速化対策」の期間終了後も・強靱化に関する所要の予算や体制を維持・拡充することが不可欠です。

44. 高規格道路等の整備促進

【国土交通省】

①事業中区間の早期開通

- ・北海道縦貫自動車道：七飯～大沼間、士別釧路～名寄間
- ・北海道横断自動車道：足寄～陸別小利別間
- ・帯広・広尾自動車道：大樹広尾道路（忠類大樹～広尾間）
- ・日高自動車道：厚賀静内道路（新冠～静内間）、静内三石道路（静内～東静内間）
厚賀静内道路（日高厚賀～新冠間）
- ・旭川・紋別自動車道：遠軽上湧別道路
- ・（国道5号）俱知安余市道路（俱知安～仁木間）、蘭越俱知安道路（ニセコ～俱知安間）
- ・（国道39号）端野高野道路、女満別空港網走道路（女満別空港～網走呼人間）
- ・（国道40号）音威子府バイパス（音中道路）
- ・（国道44号）尾幌糸魚沢道路、別保尾幌道路
- ・道央圏連絡道路：長沼南幌道路
- ・旭川十勝道路：富良野北道路
- ・遠軽北見道路：生田原道路
- ・（国道272号）上春別防雪

②未着手区間の早期着手

a. 計画段階評価が完了した区間

- ・北海道横断自動車道：蘭越～ニセコ間、網走呼人～網走間
- ・日高自動車道（東静内～三石間）

b. 計画段階評価中の区間

- ・北海道縦貫自動車道：中川～天塩間
- ・旭川十勝道路：上富良野～中富良野間

c. その他の調査中区間

- ・北海道縦貫自動車道：七飯藤代～七飯間、美深北～音威子府間、天塩～幌延間、豊富北～稚内間
- ・北海道横断自動車道：黒松内～蘭越間、糸魚沢～温根沼間
- ・日高自動車道：三石～浦河間
- ・旭川・紋別自動車道：上湧別～紋別間
- ・函館・江差自動車道：木古内～江差間
- ・旭川十勝道路：東神楽～上富良野間、富良野～占冠間
- ・遠軽北見道路：豊里～水穂間、大成～栃木間、北陽～端野間
- ・釧路中標津道路：阿歴内～東阿歴内間、北片無去～西春別間、上春別～標津間
- ・根室中標津道路：中春別～中標津間、別海～厚床間
- ・函館新外環状道路：函館空港～古川間
- ・渡島半島横断道路：今金～せたな間
- ・帯広圏連絡道路
- ・道東縦貫道路

③札幌都心部へのアクセス強化

- ・国道5号 創成川通の着実な整備促進
- ・札幌駅交通ターミナルの着実な整備促進

④暫定2車線区間の機能強化

- ・暫定2車線区間の早期4車線化
「道東道 千歳恵庭～十勝清水間」、「道央道 八雲～国縫間」
「道央道 伊達～登別室蘭間」、「道央道 和寒～士別釧淵間」

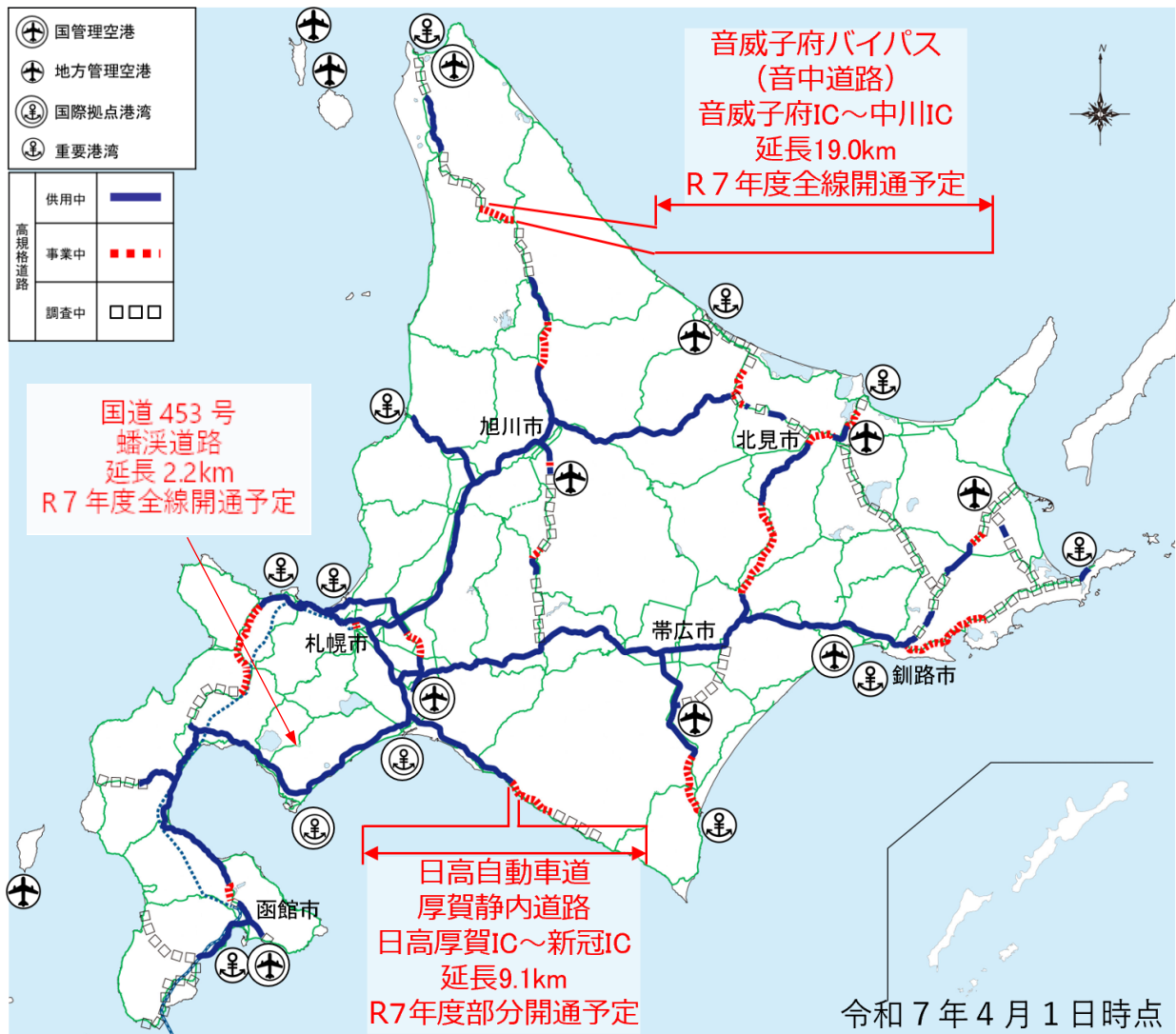
⑤追加インターチェンジの整備とジャンクションの改良の推進

・事業中箇所：小樽 J C T、共和北 I C（仮称）

おさるし
長流枝スマート I C（仮称）、新得スマート I C（仮称）

⑥冬期の道路交通の確保に必要な施設（防雪柵、雪崩予防柵等）の整備推進

■新たな広域道路ネットワーク図



（出典：令和7年度北海道開発局関係予算（参考）道路の主な開通予定）

45. 北海道新幹線の整備促進

【国土交通省】

- ①北海道新幹線札幌延伸の早期実現
- ②青函共用走行区間における新幹線高速走行問題の早期解決

46. 道内鉄道網の維持

【国土交通省】

- ①物流機能の維持・向上に向けた並行在来線「函館－長万部間」の鉄路維持
- ②物流・観光・危機対策の観点等を踏まえた道内鉄道網の維持 **新規**
- ③JR 北海道が北海道新幹線の札幌延伸を機に経営自立するまでの間の着実な支援の実施

47. 地域公共交通を担うバス事業の持続性確保

【国土交通省】

- ①「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の算定方法の見直しによるバス事業者の負担軽減
- ②キャッシュレス決済機器や運行管理機器等の交通DXへの支援
- ③運転手不足への対応強化（再掲 42⑧）
 - ・外国人運転手の受け入れ・活躍に向けた環境整備
 - ・女性運転手等の活躍に向けた環境整備への支援
 - ・運転手の確保・育成に向けた二種免許取得等への事業者補助事業の継続・拡充

48. Rapidus(株)の立地や観光に伴う国内外からの急速な需要増に対応する、新千歳空港及び新千歳空港駅の早急な機能強化

- ①新千歳空港への鉄道アクセス増強に対する支援

【国土交通省】

- ②需要増に対応した事業構想（滑走路の増設等）の検討

【国土交通省】

- ③新千歳空港における一部外国航空会社乗り入れ制限のさらなる緩和

新規

【国土交通省、防衛省】

49. 丘珠空港の機能強化

- ①至近の利用者数増加に対応する、「駐車場拡張・公共交通によるアクセス向上」

「ターミナル狭隘化解消」等への支援 **新規** 【国土交通省】

- ②丘珠空港の滑走路延伸等への支援 【国土交通省、防衛省】

50. 北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援（再掲 23）

- ①航空燃料供給不足に対する行動計画の着実な実施 **新規** 【国土交通省、経済産業省】

- ②スマートレーン導入等、空港業務DX化に対する支援 【国土交通省】

- ③パスポート取得率向上に向けた支援等、道民・国民のアウトバウンド拡大に向けた施策の実施 **新規** 【国土交通省、外務省】

51. 道内港湾・漁港の整備促進

- ①港湾の機能強化 【国土交通省】

- ・国内・国際物流の機能強化に資する港湾の整備促進（釧路港、石狩湾新港、苫小牧港）
- ・船舶の安全な入出港を確保するため、港内静穏度の向上に資する整備促進
- ・洋上風力発電設備の導入に向けた、北海道内における早期の拠点機能整備と基地港湾の指定
- ・脱炭素化社会の実現に向けた水素等を活用したカーボンニュートラルポートの形成支援

- ②衛生管理型（屋根付き岸壁等）港湾・漁港の整備 【国土交通省、水産庁】

- ③クルーズ船の受入環境の整備 【国土交通省】

- ・既存ストックを活用したクルーズ船の受入環境の整備（室蘭港）

52. 物流機能の強化 【国土交通省】

- ①物流総合効率化法による物流拠点施設への支援

- ②物流DX・物流効率化の推進

- ③特殊車両の夜間通行条件の緩和

④第二青函多用途トンネルの実現に向けた検討の推進

53. 北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進

- ①「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間完了後も、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画の早期策定及び国土強靱化に必要な予算・財源の通常予算とは別枠での確保

【内閣官房、財務省、農林水産省、国土交通省】

- ②気候変動を踏まえたハード・ソフト一体の治水対策「流域治水」の着実な推進

【総務省、農林水産省、国土交通省】

- ③日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模災害に対する強靱化の予算拡充と対策実行に向けた市町村への強力な支援

【内閣府、財務省、農林水産省、総務省、国土交通省】

- ④国土強靱化、実施中期計画の推進及び大規模災害時における地方自治体支援強化の

ための人員の確保、体制・機能の拡充・強化（北海道開発局）【内閣官房、国土交通省】

- ⑤資材価格・人件費が高騰する中でも必要な社会資本の整備・管理・更新が長期安定的に進められるよう新たな財源の創設及び必要な予算の確保と地方自治体への支援強化（広域的・戦略的なインフラメンテナンスの着実な推進等）

【財務省、農林水産省、総務省、国土交通省】

- ⑥国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策の推進

【国土交通省】

54. 「第9期北海道総合開発計画」の着実な推進のための、北海道開発予算の一括計上、北海道特例の枠組み及び体制（国土交通省北海道局、北海道開発局）の堅持

【国土交通省】

府 省 庁 別 項 目 一 覧 《参 考》

・ 内閣官房	・ ・ ・ ・ ・	P. 21
・ 内閣府	・ ・ ・ ・ ・	P. 21
・ 金融庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 22
・ こども家庭庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 22
・ デジタル庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 22
・ 総務省	・ ・ ・ ・ ・	P. 22
・ 法務省	・ ・ ・ ・ ・	P. 22
・ 出入国在留管理庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 23
・ 外務省	・ ・ ・ ・ ・	P. 23
・ 財務省	・ ・ ・ ・ ・	P. 23
・ 文部科学省	・ ・ ・ ・ ・	P. 23
・ スポーツ庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 24
・ 文化庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 24
・ 厚生労働省	・ ・ ・ ・ ・	P. 24
・ 農林水産省	・ ・ ・ ・ ・	P. 25
・ 林野庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 25
・ 水産庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 25
・ 経済産業省	・ ・ ・ ・ ・	P. 26
・ 資源エネルギー庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 27
・ 中小企業庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 27
・ 国土交通省	・ ・ ・ ・ ・	P. 28
・ 観光庁	・ ・ ・ ・ ・	P. 31
・ 環境省	・ ・ ・ ・ ・	P. 31
・ 防衛省	・ ・ ・ ・ ・	P. 32

【内閣官房】

番号	要 望 項 目	頁
30	ウポポイ(民族共生象徴空間)への誘客促進への支援 ①ウポポイの認知度向上・魅力向上・誘客促進、及び駐車料金無料化等への支援 ②ウポポイを教育旅行(修学旅行、見学会等)の訪問先にする事についての小中高等学校への働き掛け	9 10
39	地方創生・地域課題解決に係る取り組みへの支援 ①「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の使い勝手の改善	12
53	北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進 ①「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間完了後も、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画の早期策定及び国土強靱化に必要な予算・財源の通常予算とは別枠での確保 ④国土強靱化、実施中期計画の推進及び大規模災害時における地方自治体支援強化のための人員の確保、体制・機能の拡充・強化(北海道開発局)	19 19

【内閣府】

番号	要 望 項 目	頁
1	道内へのGX投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援	4
33	宇宙開発の6次産業化 ①北海道大樹町でのスペースポート(「LC-1・LC-2 射場」及び「3,000m級滑走路」)整備の国家プロジェクトとしての推進 ③衛星データ利活用の社会実装に向けた技術実証への支援継続	11 11
34	北海道の特性に応じた自動運転の実現に向けた支援 ①積雪寒冷地における自動運転に関する技術開発等への支援 ②北海道での自動運転の実証・実装への支援及び環境整備	11 11
39	地方創生・地域課題解決に係る取り組みへの支援 ①「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の使い勝手の改善 ②首都圏のアクティブシニアへの訴求等、働き手の確保を重視した移住施策の推進 ③ガバメントクラウドに伴う自治体の基幹業務システム標準化の維持運営費に対する、地方交付税措置等による支援	12 12 12
42	人手不足対策に資する多様な人材の確保 ③女性の活躍推進	13
53	北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進 ③日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模災害に対する強靱化の予算拡充と対策実行に向けた市町村への強力な支援	19

【金融庁】

番号	要 望 項 目	頁
1	道内への GX 投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援	4

【こども家庭庁】

番号	要 望 項 目	頁
41	人口の自然減の緩和に向けた、安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	13

【デジタル庁】

番号	要 望 項 目	頁
39	地方創生・地域課題解決に係る取り組みへの支援 ③ガバメントクラウドに伴う自治体の基幹業務システム標準化の維持運営費に対する、地方交付税措置等による支援 新規	12

【総務省】

番号	要 望 項 目	頁
3	脱炭素電力を利用するデータセンターの北海道への整備促進 ①データセンターの地方拠点化に向けた環境整備 ②海外からの通信ケーブルの「陸揚げ拠点」の道内への設置 ③データセンター立地を契機とするデジタル関連産業の集積の促進	4 4 4
39	地方創生・地域課題解決に係る取り組みへの支援 ②首都圏のアクティブシニアへの訴求等、働き手の確保を重視した移住施策の推進 ③ガバメントクラウドに伴う自治体の基幹業務システム標準化の維持運営費に対する、地方交付税措置等による支援	12 12
53	北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進 ②気候変動を踏まえたハード・ソフト一体の治水対策「流域治水」の着実な推進 ③日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模災害に対する強靱化の予算拡充と対策実行に向けた市町村への強力な支援 ⑤資材価格・人件費が高騰する中でも必要な社会資本の整備・管理・更新が長期安定的に進められるよう新たな財源の創設及び必要な予算の確保と地方自治体への支援強化（広域的・戦略的なインフラメンテナンスの着実な推進等）	19 19 19

【法務省】

番号	要 望 項 目	頁
42	人手不足対策に資する多様な人材の確保 ⑦刑余者の就労及び就労継続への支援	13

【出入国在留管理庁】

番号	要 望 項 目	頁
42	人手不足対策に資する多様な人材の確保 ②外国人材の受け入れ拡大に向けた取り組み	13

【外務省】

番号	要 望 項 目	頁
23	北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援(再掲 50) ③パスポート取得率向上に向けた支援等、道民・国民のアウトバウンド拡大に向けた施策の実施	8
50	北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援(再掲 23) ③パスポート取得率向上に向けた支援等、道民・国民のアウトバウンド拡大に向けた施策の実施	18

【財務省】

番号	要 望 項 目	頁
53	北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進 ①「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間完了後も、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画の早期策定及び国土強靱化に必要な予算・財源の通常予算とは別枠での確保 ③日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模災害に対する強靱化の予算拡充と対策実行に向けた市町村への強力な支援 ⑤資材価格・人件費が高騰する中でも必要な社会資本の整備・管理・更新が長期安定的に進められるよう新たな財源の創設及び必要な予算の確保と地方自治体への支援強化(広域的・戦略的なインフラメンテナンスの着実な推進等)	19 19 19

【文部科学省】

番号	要 望 項 目	頁
15	半導体人材の確保・育成への支援	6
30	ウポポイ(民族共生象徴空間)への誘客促進への支援 ②ウポポイを教育旅行(修学旅行、見学会等)の訪問先にする事についての小中高等学校への働き掛け	10
33	宇宙開発の6次産業化 ②航空宇宙産業の研究拠点の整備と産学官が連携した技術交流の推進	11
43	次世代を担う人づくりに向けた大学教育関連予算の継続・拡充	13

【スポーツ庁】

番号	要 望 項 目	頁
32	「スポーツアイランド北海道」の推進	
	①「冬季版ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）」の北海道への設置	10
	②国内外のスポーツ大会、合宿等の誘致に向けた情報の提供と利用環境の向上に資する施設整備に対する支援	10

【文化庁】

番号	要 望 項 目	頁
30	ウポポイ(民族共生象徴空間)への誘客促進への支援	
	①ウポポイの認知度向上・魅力向上・誘客促進、及び駐車料金無料化等への支援	9
	②ウポポイを教育旅行(修学旅行、見学会等)の訪問先にすることについての小中高等学校への働き掛け	10
31	世界文化遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の認知度向上及び誘客促進に向けた受入環境整備への支援	10

【厚生労働省】

番号	要 望 項 目	頁
15	半導体人材の確保・育成への支援	6
39	地方創生・地域課題解決に係る取り組みへの支援	
	②首都圏のアクティブシニアへの訴求等、働き手の確保を重視した移住施策の推進	12
40	医師の偏在是正による北海道各地での地域医療の確保	12
42	人手不足対策に資する多様な人材の確保	
	①あらゆる業種・職種における人手不足対策の強化	13
	②外国人材の受け入れ拡大に向けた取り組み	13
	③女性の活躍推進	13
	④シニア世代の活躍推進	13
	⑤障がい者の労働参加の促進	13
	⑥長期無業者の就労促進	13
	⑦刑余者の就労及び就労継続への支援	13

【農林水産省】

番号	要 望 項 目	頁
8	各種再生可能エネルギーの導入拡大 ①バイオマス導入への支援	5
17	食料供給基地としての農業・農村基盤整備の拡充とスマート農業の推進	7
18	酪農経営安定化に向けた牛乳・乳製品等の需要拡大施策の実施	7
19	「農林水産物・食の輸出の政府目標」達成に向けた品目と輸出先の拡大	7
37	米国の関税措置により影響を受ける事業者等に対する相談・支援体制の確立	11
53	北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進 ①「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間完了後も、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画の早期策定及び国土強靱化に必要な予算・財源の通常予算とは別枠での確保 ②気候変動を踏まえたハード・ソフト一体の治水対策「流域治水」の着実な推進 ③日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模災害に対する強靱化の予算拡充と対策実行に向けた市町村への強力な支援 ⑤資材価格・人件費が高騰する中でも必要な社会資本の整備・管理・更新が長期安定的に進められるよう新たな財源の創設及び必要な予算の確保と地方自治体への支援強化（広域的・戦略的なインフラメンテナンスの着実な推進等）	19 19 19 19

【林野庁】

番号	要 望 項 目	頁
8	各種再生可能エネルギーの導入拡大 ①バイオマス導入への支援	5
20	林業・水産業の振興に資する取り組みの推進 ①住宅や店舗・事務所、商業施設等民間施設における道産建築材の利用促進や、道産建築材の生産・供給体制の構築に対する支援の強化	7

【水産庁】

番号	要 望 項 目	頁
9	ブルーカーボン・水産振興に資する藻場造成等への支援(再掲 20②)	5
19	「農林水産物・食の輸出の政府目標」達成に向けた品目と輸出先の拡大	7
20	林業・水産業の振興に資する取り組みの推進 ②ブルーカーボン・水産振興に資する藻場造成等への支援(再掲 9) ③水産物の国内消費拡大に向けた支援策の継続	7 7
37	米国の関税措置により影響を受ける事業者等に対する相談・支援体制の確立	11
51	道内港湾・漁港の整備促進 ②衛生管理型(屋根付き岸壁等)港湾・漁港の整備	18

【経済産業省】

番号	要 望 項 目	頁
1	道内へのGX投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援	4
2	道内洋上風力発電の導入を契機とする道内経済活性化 ②道内洋上風力発電の導入による道内への経済波及効果を最大化するための産業需要創出	4
3	脱炭素電力を利用するデータセンターの北海道への整備促進 ①データセンターの地方拠点化に向けた環境整備 ②海外からの通信ケーブルの「陸揚げ拠点」の道内への設置 ③データセンター立地を契機とするデジタル関連産業の集積の促進	4 4 4
4	ゼロカーボン北海道の推進に係る企業の取り組みへの支援 ①脱炭素に取り組む企業への補助制度等の継続・拡充	4
11	サーキュラーエコノミービジネスの推進	5
14	Rapidus(株)による次世代半導体工場の建設・本格操業に向けた強力な支援 ①建設・試作・本格操業に係る費用等への支援 ②研究開発への支援	6 6
15	半導体人材の確保・育成への支援	6
16	Rapidus(株)の立地を契機とした半導体関連産業の集積・道内企業との連携構築に向けた支援	6
23	北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援(再掲 50) ①航空燃料供給不足に対する行動計画の着実な実施	8
33	宇宙開発の6次産業化 ②航空宇宙産業の研究拠点の整備と産学官が連携した技術交流の推進 ③衛星データ利活用の社会実装に向けた技術実証への支援継続	11 11
34	北海道の特性に応じた自動運転の実現に向けた支援 ①積雪寒冷地における自動運転に関する技術開発等への支援 ②北海道での自動運転の実証・実装への支援及び環境整備	11 11
35	道内事業者の DX 推進に向けた取り組みへの支援	11
37	米国の関税措置により影響を受ける事業者等に対する相談・支援体制の確立	11
38	道内各地域での「コンパクト&ネットワーク」の確立に向けた地域公共交通への支援 ③「地域新MaaS創出推進事業」の採択事例の拡充	12
50	北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援(再掲 23) ①航空燃料供給不足に対する行動計画の着実な実施	18

【資源エネルギー庁】

番号	要 望 項 目	頁
1	道内への GX 投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援	4
2	道内洋上風力発電の導入を契機とする道内経済活性化	
	①道内洋上風力発電の促進区域への早期指定と指定された区域に対する継続支援	4
	②道内洋上風力発電の導入による道内への経済波及効果を最大化するための産業需要創出	4
	③道内洋上風力発電の域内外への安定供給に資する電力ネットワークの整備	4
4	ゼロカーボン北海道の推進に係る企業の取り組みへの支援	
	①脱炭素に取り組む企業への補助制度等の継続・拡充	4
5	ゼロカーボン北海道の推進に係る家庭での取り組みの促進	
	①家庭での省エネ行動を促す効果的な情報発信	4
	②ZEH等の住宅分野における脱炭素の推進	4
	③CO2削減に資する高効率機器導入や断熱改修等への補助	4
7	水素の利活用の推進	
	①道内における水素インフラ整備及び水素利活用に向けた実証・研究開発への支援	5
	②「水素・アンモニア」拠点の整備への支援及輸送インフラの整備促進	5
8	各種再生可能エネルギーの導入拡大	
	②国の「環境配慮ガイドライン」や自治体の条例・ガイドラインを踏まえた、PPA 等による太陽光発電導入への支援	5
10	CCS・CCUS等に関する技術開発と実証事業の推進	5
12	原子力発電の利活用	
	①原子力発電の利活用に向けた国民理解の促進	5
	②泊発電所早期再稼働への支援	5
13	エネルギー価格高騰に対する事業者の負担軽減	
	①「燃料油価格激変緩和対策事業」の継続	5
	②「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の継続	5

【中小企業庁】

番号	要 望 項 目	頁
35	道内事業者の DX 推進に向けた取り組みへの支援	11
36	「よろず支援拠点」の継続等による、スタートアップ等の事業者の経営課題に対する支援体制の充実	11
37	米国の関税措置により影響を受ける事業者等に対する相談・支援体制の確立	11

【国土交通省】

番号	要 望 項 目	頁
1	道内への GX 投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援	4
4	ゼロカーボン北海道の推進に係る企業の取り組みへの支援 ②輸送用車両のEV・FCV化・充電設備設置等への支援拡充と寒冷地型EV・FCVの導入促進	4
5	ゼロカーボン北海道の推進に係る家庭での取り組みの促進 ②ZEH等の住宅分野における脱炭素の推進	4
9	ブルーカーボン・水産振興に資する藻場造成等への支援(再掲 20②)	5
17	食料供給基地としての農業・農村基盤整備の拡充とスマート農業の推進	7
20	林業・水産業の振興に資する取り組みの推進 ①住宅や店舗・事務所、商業施設等民間施設における道産建築材の利用促進や、道産建築材の生産・供給体制の構築に対する支援の強化 ②ブルーカーボン・水産振興に資する藻場造成等への支援(再掲 9)	7 7
21	観光・食の生産空間維持と道内周遊促進に資する、「北海道MaaS」実現への支援 ①「北海道MaaS」の仕組み構築や関連する実証事業等に対する、「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」等での支援(再掲 38①) ②「北海道MaaS」の基盤となる情報や実現への課題に関する「北海道開発計画推進等経費」等を活用した調査の実施 ③「北海道MaaS」の実現・持続性確保に向けた、道・市町村・関係事業者に対する理解活動への協力	8 8 8
23	北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援(再掲 50) ①航空燃料供給不足に対する行動計画の着実な実施 ②スマートレーン導入等、空港業務DX化に対する支援 ③パスポート取得率向上に向けた支援等、道民・国民のアウトバウンド拡大に向けた施策の実施	8 8 8
26	MICE の北海道誘致推進	9
30	ウポポイ(民族共生象徴空間)への誘客促進への支援 ①ウポポイの認知度向上・魅力向上・誘客促進、及び駐車料金無料化等への支援 ②ウポポイを教育旅行(修学旅行、見学会等)の訪問先にすることについての小中高等学校への働き掛け	9 10
34	北海道の特性に応じた自動運転の実現に向けた支援 ①積雪寒冷地における自動運転に関する技術開発等への支援 ②北海道での自動運転の実証・実装への支援及び環境整備	11 11
38	道内各地域での「コンパクト&ネットワーク」の確立に向けた地域公共交通への支援 ①「北海道MaaS」の仕組み構築や関連する実証事業等に対する、「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」等での支援(再掲 21①)	12

	②道内各地での「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」を活用する取り組みへの支援	12
42	人手不足対策に資する多様な人材の確保 ⑧運転手不足への対応強化(再掲 47③)	13
44	高規格道路等の整備促進 ①事業中区間の早期開通 ②未着手区間の早期着手 ③札幌都心部へのアクセス強化 ④暫定2車線区間の機能強化 ⑤追加インターチェンジの整備とジャンクションの改良の推進 ⑥冬期の道路交通の確保に必要な施設(防雪柵、雪崩予防柵等)の整備推進	14 15 15 15 16 16
45	北海道新幹線の整備促進 ①北海道新幹線札幌延伸の早期実現 ②青函共用走行区間における新幹線高速走行問題の早期解決	17 17
46	道内鉄道網の維持 ①物流機能の維持・向上に向けた並行在来線「函館一長万部間」の鉄路維持 ②物流・観光・危機対策の観点等を踏まえた道内鉄道網の維持 ③JR北海道が北海道新幹線の札幌延伸を機に経営自立するまでの間の着実な支援の実施	17 17 17
47	地域公共交通を担うバス事業の持続性確保 ①「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」の算定方法の見直しによるバス事業者の負担軽減 ②キャッシュレス決済機器や運行管理機器等の交通DXへの支援 ③運転手不足への対応強化(再掲 42⑧)	17 17 17
48	Rapidus(株)の立地や観光に伴う国内外からの急速な需要増に対応する、新千歳空港及び新千歳空港駅の早急な機能強化 ①新千歳空港への鉄道アクセス増強に対する支援 ②需要増に対応した事業構想(滑走路の増設等)の検討 ③新千歳空港における一部外国航空会社乗り入れ制限のさらなる緩和	17 17 17
49	丘珠空港の機能強化 ①至近の利用者数増加に対応する、「駐車場拡張・公共交通によるアクセス向上」「ターミナル狭隘化解消」等への支援 ②丘珠空港の滑走路延伸等への支援	18 18
50	北海道における地方誘客促進に不可欠な、航空ネットワークの拡充・成長及び受け入れ体制強化に向けた支援(再掲 23) ①航空燃料供給不足に対する行動計画の着実な実施 ②スマートレーン導入等、空港業務DX化に対する支援 ③パスポート取得率向上に向けた支援等、道民・国民のアウトバウンド拡大に向けた施策の実施	18 18 18

51	道内港湾・漁港の整備促進	
	①港湾の機能強化	18
	②衛生管理型(屋根付き岸壁等)港湾・漁港の整備	18
	③クルーズ船の受入環境の整備	18
52	物流機能の強化	
	①物流総合効率化法による物流拠点施設への支援	18
	②物流DX・物流効率化の推進	18
	③特殊車両の夜間通行条件の緩和	18
	④第二青函多用途トンネルの実現に向けた検討の推進	19
53	北海道の生産空間を支える国土強靱化の推進	
	①「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の対策期間完了後も、継続的・安定的に国土強靱化の取り組みを進めるため、国土強靱化実施中期計画の早期策定及び国土強靱化に必要な予算・財源の通常予算とは別枠での確保	19
	②気候変動を踏まえたハード・ソフト一体の治水対策「流域治水」の着実な推進	19
	③日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震等の大規模災害に対する強靱化の予算拡充と対策実行に向けた市町村への強力な支援	19
	④国土強靱化、実施中期計画の推進及び大規模災害時における地方自治体支援強化のための人員の確保、体制・機能の拡充・強化(北海道開発局)	19
	⑤資材価格・人件費が高騰する中でも必要な社会資本の整備・管理・更新が長期安定的に進められるよう新たな財源の創設及び必要な予算の確保と地方自治体への支援強化(広域的・戦略的なインフラメンテナンスの着実な推進等)	19
	⑥国土強靱化の事業計画に基づく道路の橋梁、トンネル、舗装等の老朽化対策の推進	19
54	「第9期北海道総合開発計画」の着実な推進のための、北海道開発予算の一括計上、北海道特例の枠組み及び体制(国土交通省北海道局、北海道開発局)の堅持	19

【観光庁】

番号	要 望 項 目	頁
22	高付加価値化、地方誘客・道内周遊促進、生産性向上等に向けた「観光 DX」推進の取り組みへの支援	8
24	ユニバーサルツーリズムへの支援の継続	9
25	北海道らしいIR(統合型リゾート)実現に向けた支援	9
26	MICE の北海道誘致推進	9
27	アドベンチャートラベルの推進 ①2030 年「アドベンチャートラベルワールドサミット」の北海道を含む日本再開催及び同サミットと一体として実施される「High-end Experiential Travel Summit」の北海道開催の実現に向けた支援 ②上記を見据えた、「ガイドの確保・育成」「ツアーオペレーターの拡充」「魅力的な体験プログラムづくり」及び「PR・プロモーション強化」等への支援	9 9
28	新たに国立公園指定された「日高山脈襟裳十勝国立公園」等の道内国立公園における環境保全と調和した高付加価値観光の推進	9

【環境省】

番号	要 望 項 目	頁
1	道内への GX 投資促進に向けた「Team Sapporo-Hokkaido」の取り組みへの支援	4
4	ゼロカーボン北海道の推進に係る企業の取り組みへの支援 ①脱炭素に取り組む企業への補助制度等の継続・拡充	4
5	ゼロカーボン北海道の推進に係る家庭での取り組みの促進 ①家庭での省エネ行動を促す効果的な情報発信 ②ZEH等の住宅分野における脱炭素の推進 ③CO2削減に資する高効率機器導入や断熱改修等への補助	4 4 4
6	ゼロカーボン北海道の推進に取り組む自治体等への支援 ①「脱炭素先行地域」及び「脱炭素先行地域」を目指す道内自治体への支援 ②地域特性を活かした取り組みの推進に資する「脱炭素先行地域」の要件の柔軟化と「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の拡充・使途拡大	5 5
7	水素の利活用の推進 ①道内における水素インフラ整備及び水素利活用に向けた実証・研究開発への支援	5
8	各種再生可能エネルギーの導入拡大 ②国の「環境配慮ガイドライン」や自治体の条例・ガイドラインを踏まえた、PPA 等による太陽光発電導入への支援	5
10	CCS・CCUS等に関する技術開発と実証事業の推進	5
11	サーキュラーエコノミービジネスの推進	5
28	新たに国立公園指定された「日高山脈襟裳十勝国立公園」等、道内国立公園における環境保全と調和した高付加価値観光の推進	9

29	生物多様性の保全に向けた「自然共生サイト」の取り組みへの支援	
	①OECM の創出・再生、自然共生サイト管理に対するインセンティブの設定	9
	②普及啓発活動や自然共生サイト認定促進に関する支援	9

【防衛省】

番号	要 望 項 目	頁
48	Rapidus(株)の立地や観光に伴う国内外からの急速な需要増に対応する、新千歳空港及び新千歳空港駅の早急な機能強化	
	③新千歳空港における一部外国航空会社乗り入れ制限のさらなる緩和	17
49	丘珠空港の機能強化	
	②丘珠空港の滑走路延伸等への支援	18



※北海道の面積は、国土の 22%を占めます。
例えば、関東地方（1都6県）と比較すると、
2.6 倍の広さがあります。



北海道経済連合会

（ 略称 ： 道経連 ）

〒060-0001

札幌市中央区北 1 条西3丁目3 札幌 MNビル8階

TEL 011-221-6166

FAX 011-221-3608

<https://www.dokeiren.gr.jp>